

システム情報工学研究科修士論文概要

年 度	平成 26 年度	学位名	修士(工学)
専 攻	知的機能システム	専攻	著者氏名 雫 泰裕
指導教員氏名 北原 格			
論文題目 展示物に対する関心の複合現実感を用いた共有			
論文概要 <p>本論文では、展示会において、閲覧者が気付きさえすれば興味を持つような展示物の見逃しを防ぐため、閲覧者間で関心を共有する手法を提案する。博物館等の展示会では展示物が多く、閲覧者が気付きさえすれば興味を持つような展示物であっても見逃してしまうことがある。展示会側が、閲覧者に注目展示物を強調する取り組みが行われているが、代表的な展示物に対してのみ強調されることが多いため、多様な閲覧者の興味をカバーすること困難なであり、その結果、興味深い展示物であっても強調対象から漏れてしまうケースが発生する。一方で、ある閲覧者が展示物に対して興味を持った情報(関心)は、他の閲覧者も興味を持つ可能性が高いと考えられる。その関心を多数の閲覧者が共有することができれば、多様な閲覧者の興味をカバー可能になり、興味深い展示物が見逃されることを防ぐことができるのではないかと考える。そこで、本研究では、時間を隔てた多くの閲覧者間で、展示物に対する関心の共有を実現するシステムを提案する。</p> <p>本手法では、発話情報は関心を表現するためのメディアであることに着目し、閲覧者が発した展示物に対するコメントを記録し、発話情報を文字 CG として閲覧時に複合現実型提示することで、複数の閲覧者間での関心の共有を実現する。異なる時刻における発話内容を共有するために、発話者視点映像から、発話者が展示物のどこに注目していたかを推定し、そこに複合現実感を用いて発話内容を提示する。また、展示物を閲覧する方向によっては、内容が理解困難であるため、文字の向きを閲覧者の視線方向と直交するように設定し、閲覧方向を明確にする。本論文では、本方式のパイロットシステムを実装し、本手法の有効性を示すための実験を行った。</p>			
審査日	平成 27 年 1 月 29 日		
審査員	(大学名 職名)	(学位)	(氏名)
主査	筑波大学 准教授	博士(工学)	北原 格
副査	筑波大学 教授	工学博士	大田 友一
副査	筑波大学 准教授	博士(工学)	亀田 能成